

# べっかい 議会だより



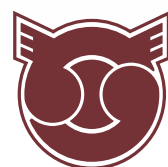
69

あたたかな目と手と心。利用者に寄り添う心を伝えたい

## 特集

- 「バイオマス産業都市」認定を受け、発電事業スタートへ …3
- 平成26年度一般会計予算150億円を超える …… 4
- 畜産環境条例・河川環境条例制定 …… 7
- 町政のここが聞きたい …… 9
- 一般質問（中村・西原・木嶋・瀧川の4議員）

シリーズ 志を受け継ぐ しょうらく 笑楽福祉工房代表 おおわだともこ 大和田智子さん …18



2014.5.1  
北海道別海町議会

**第1回  
定例会**  
3月5日～13日開催

第1回定例会は、3月5日から9日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

**平成25年度 補正予算概要**

補正額	予算総額
<b>一般会計（7回目の補正）</b>	
10億 120万円 増	164億9900万円
<b>国民健康保険特別会計（2回目の補正）</b>	
6270万円 増	25億4910万円
<b>下水道事業特別会計（3回目の補正）</b>	
820万円 減	5億7870万円
<b>介護サービス事業特別会計（2回目の補正）</b>	
870万円 減	9億2480万円
<b>介護保険特別会計（2回目の補正）</b>	
2280万円 減	8億9390万円
<b>後期高齢者医療特別会計（1回目の補正）</b>	
250万円 減	1億3680万円
<b>病院事業会計（2回目の補正）</b>	
〈収益的支出〉4826万円 減	20億 859万円
〈資本的支出〉327万円 減	1億6531万円
<b>水道事業会計（3回目の補正）</b>	
〈収益的支出〉1336万円 減	4億8393万円
〈資本的支出〉1479万円 減	3億6652万円

■ 一般会計の主な補正（歳出）

- 特定防衛施設周辺整備交付金基金事業（基金積立） 1億5898万円増
- 生涯学習振興基金積立金 5091万円増
- 国民健康保険特別会計繰出金 1億309万円増
- 中学校建物耐震改修事業（中春別中学校） 5407万円増
- 住宅太陽光発電システム導入助成事業 1000万円減
- バイオガス発電施設出資金 1億2900万円
- バイオガスプラント用地取得事業 460万円増
- 公営住宅等整備事業（上春別） 9168万円

**バイオガス発電施設出資金  
1億2900万円**

今回の補正予算に関する事業名、経費名、補正額および予算総額は右表のとおりです。歳入では消費税引き上げによる景気下振れに対応するため、町も国と連動した経済対策として、切れ目ない予算執行をするため増額となりました。

国補正により前倒しとなる、学校建物耐震事業や公営住宅等整備事業など繰越事業として約9億8700万円計上されました。歳出は、各会計における不用額の減額補正が主なものですが、新規事業でバイオガス発電施設出資金に、1億

2900万円が計上されました。別海バイオガス発電（株）が設立され、その会社設立出資金は4億3000万円、30%にあたる1億2900万円を町が出資しました。また、460万円を平系地区に施設用地を取得し、発電会社に貸し付ける予定となっています。

**一般会計補正予算に対する討論**

（賛成12名 反対3名）

**反対** 中村忠士議員

バイオガス発電施設について、非常に不明点が多い。

町は議会にも情報提供し双方が十分理解し提案すべきである。

原料供給に対する責任でペナルティがあることや、借入金12億2000万円について町の負担がどうなのか、また15年に買い取る株価や売電価格などが全く不明のままである。

最大の問題は70℃殺菌について町は必須条件としていたが、そのための営業経費や施設の建設費についても方向性が全く見えてこない。

このことは非常に説明の準備が不足していることや大きな問題を抱えているため、他の補正は賛成だが、この件について反対する。

**賛成** 小林敏之議員

家畜ふん尿処理は、各酪農家に対応に苦慮しており増頭などで施設規模も手狭となっている。

バイオガスプラントは家畜ふん尿対策の有効手段である。

環境・エネルギー・臭気対策など、持続可能な酪農を目指す有効なもの判断する。



町内で稼働中のバイオガス発電施設（別海バイオ株）

特集

# 「バイオマス産業都市」認定を受け 発電事業スタートへ

## バイオガス 発電事業の概要

「別海町バイオマスタウン構想書」が平成18年に作られました。

平成21年度からの、第6次別海町総合計画では、「自然と共生するまち」として環境保全活動などをさらに進め、自然エネルギーの導入や、家畜ふん尿を主体としたバイオマスエネルギーの活用など、新エネルギー導入推進を計画としてあげました。

平成25年6月、農林水産省の「バイオマス産業都市」に認定され、家畜ふん尿を活用したバイオガス発電施設を平系に作り、平成27年7月には操業開始の計画がたてられています。

- 事業規模として家畜排泄物を一日280t、産廃系食品残渣なども一日5t入る予定です。
- 発電量は日量3万4000kwです。

● 処理方法は55℃高温発酵処理を予定です。

● 別海バイオガス発電(株)が作られ出資者は三井造船(株)、別海町、農協(予定)。平成25年度の補正予算で地元出資金として1億2900万円が計上されました。

この金額を町と町内2農協で50%ずつ負担する予定です。

● 現在参加農家戸数は81戸。町営・研修牧場もあわせて83戸です。

● 運転開始から15年後には、発電会社の株を町が購入します。

## 議会での 協議内容

● 15年で会社が手を引いた後、施設の老朽で過大な修理費用が必要になると考えられることから、酪農家にとつて過大な負担とならないか。

● 日本で最大規模の施設

の予定だが、ふん尿運搬にも費用がかかる。個別型の検討はされたか。

● 防疫体制をとる必要がある。55℃では感染症防止はできない。加熱は70℃にする必要がある。

● 元の計画にあった、消化液貯留施設が、農家負担軽減と言う理由から建設中止となっているが、農家の容量不足の受け皿となる事からも貯留施設は再検討が必要。

● 農家説明が少なすぎる。内容変化など未周知のまま、決定すべきではない。

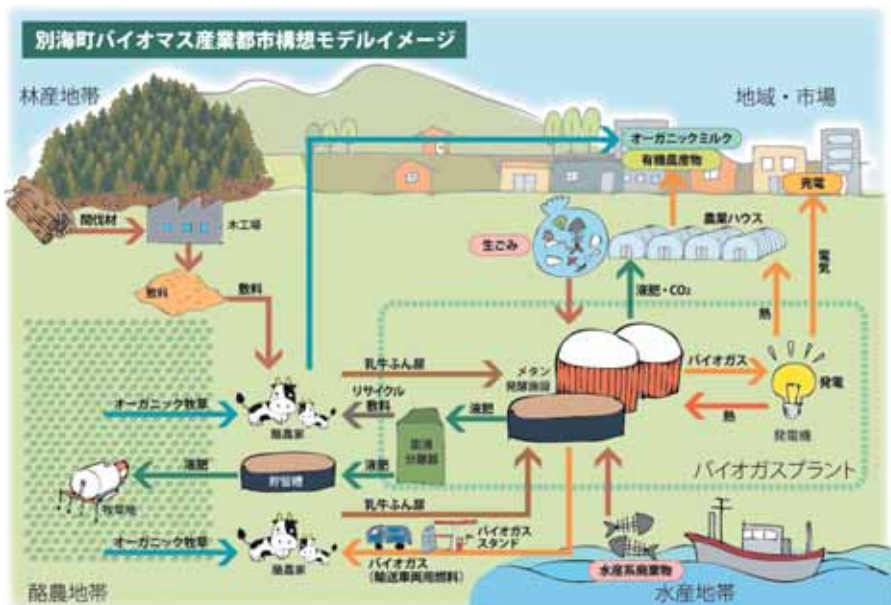
## 今後も調査を継続

様々な課題はありますが、この事業を待つ農家もあり、さらなる検討を重ねながら事業を進めることが大切です。

防疫については町と

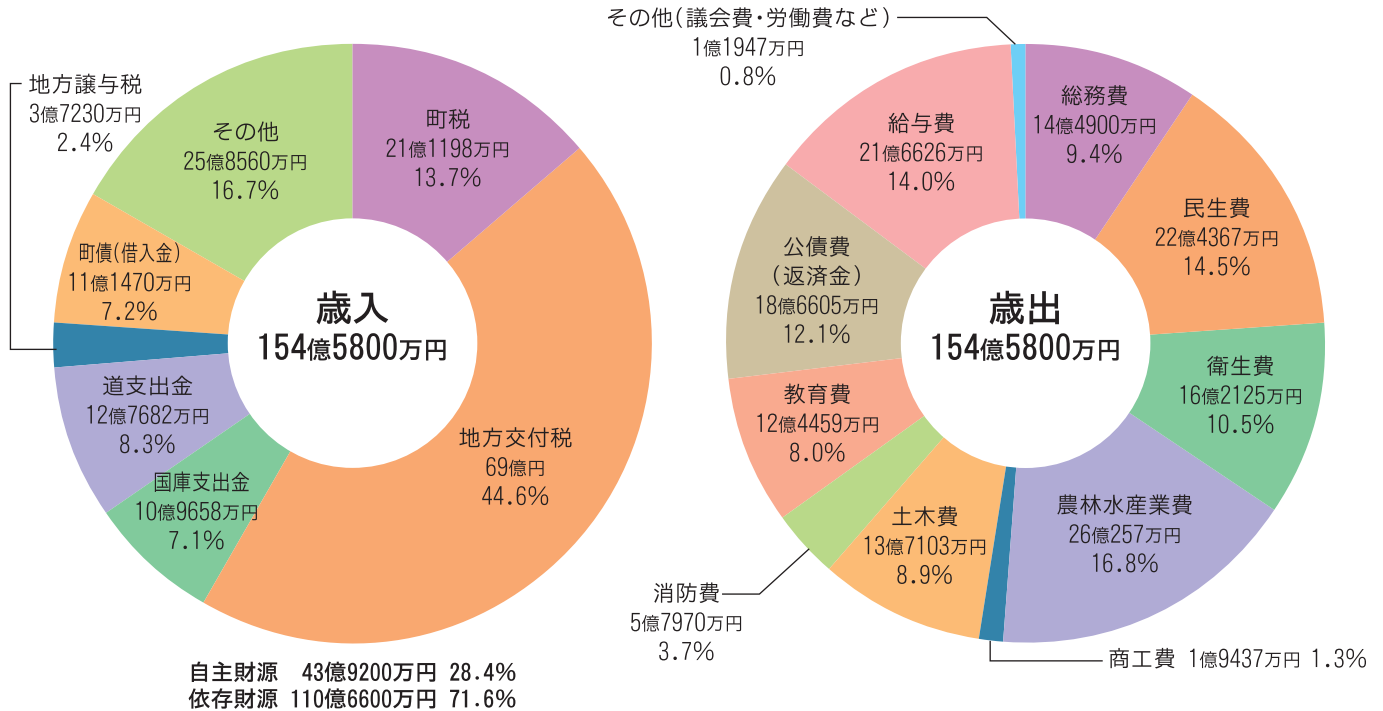
しても重要との認識から、発電会社へ申し入れしているとの報告を受けています。

調和ある第一産業の発展のためにも、しっかりとした役割を果たす施設の運営に向けて、所管の産業常任委員会では今後も調査を続けるとの確認がされています。



# 産業を振興し、地域の成長に 結びつける予算可決

一般会計6年ぶりに150億円を超える大型規模



<b>各会計予算総額</b>	<b>244億3000万円</b>
一般会計	154億5800万円
特別会計	47億6700万円
企業会計	42億500万円

**特別会計予算**

国民健康保険	25億1000万円
下水道事業	6億6400万円
介護サービス事業	4億9600万円
介護保険	9億4900万円
後期高齢者医療	1億4800万円

**企業会計予算**

病院事業会計	29億3700万円
水道事業会計	12億6800万円

(企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

## 一般会計に対する討論

(賛成13名 反対2名)

**反対** 中村忠士議員

①消費税増税に対応する町民支援の独自施策が欠如している。

②広域地方税滞納整理機構は広大な地域を4人の職員で徴収に当たるといいう状況で、機械的対応にならざるを得ず、滞納問題の真の解決にはならない。

③国営かんがい排水事業では、利用農家に寄り添い積極的に情報をつかみ、検証を進めようとする姿勢にかけている。

④森林率を増やしていくという方針を掲げているが、町の姿勢は言葉だけに終わっている。

⑤旧交流センターの管理運営が、経緯はあるだろうが結果として不正常な形になっている。以上の点を指摘して反対する。

**賛成** 佐藤初雄議員

平成26年度の一般会計予算は、過去10年間の当初予算と比較しても、平成20年度の155億円に迫る予算額となっており、第6次総合計画の後半となる6年次目を迎え、積極的な予算である。

地域会館の耐震改修、尾岱沼消防庁舎の建築主体工事、新規事業である市街地活性化計画策定、誘客交流推進事業、エコ型住宅新増改築補助事業の継続、エゾシカ被害対策事業、中学校の防音事業、老人福祉施設整備事業など、重要な施策は概ね盛り込まれている。今後も将来を見据えた「健全な財政運営」への取り組みがなされることを期待し、本予算案に賛成する。

# 第6次別海町総合計画 後期5か年スタート

新年度予算が審議される第1回定例会では、議員全員による予算審査特別委員会（安部政博委員長）が設置されます。本会議で提出された平成26年度予算案が、3月11日・12日の2日間にわたって1項目ごと慎重に審査されました。



交通事故につながるエゾシカの道路横断（走古丹）

## エゾシカ被害対策事業

金額 4165万円

エゾシカの増加による被害の拡大が大きな問題となっており、3500頭の駆除が予定されています。



ふるさとの森動物館で写生をする子ども達

## 臨時福祉給付事業

金額 5500万円

## 子育て世帯臨時特例給付事業

金額 2100万円

1年限りの新事業で低所得者や児童手当受給者に給付されます。



老朽化が著しい尾岱沼消防団詰所

## 消防団拠点施設整備事業

金額 4億2531万円

尾岱沼消防団詰所・車庫の建築主体工事、外構工事実施設計などの事業です。



農家から毎日出るふん尿を搬入するトラック（富岡堆肥センター）

## 家畜ふん尿貯留施設整備事業

金額 2850万円

ふん尿貯留施設が不足する農家に対し補助するもので、今年は57戸を予定しています。



新しい機種に取り換えられる腹腔鏡

## 医療機械器具整備事業

金額 5200万円

より良い医療提供のために、<sup>ふくくう</sup>腹腔鏡システムや分娩監視装置など医療機器の充実を図る目的の事業です。



老朽化により建替えが計画される上西春別中学校の現校舎

## 防衛施設周辺防音事業

金額 5800万円

上西春別中学校の建替えに対する防音改築基本・実施設計業務委託などが計画されています。

## その他の主な事業

### 老人福祉施設整備事業

（特養建設借入金補助）

金額 6195万円

### 中小企業担い手育成事業

（企業マップ作成・高校生の大学視察）

金額 167万円

### 特養ホーム・デイサービスセンター運営費補助事業

（経営移譲後の運営費補助）

金額 7730万円

### 協働のまちづくり推進事業

（公募型補助金）

金額 391万円

### 資源循環施設利活用整備事業

（別海パイオ株の設備更新など）

金額 3141万円

### 誘客交流推進事業

（外国人観光客誘致対策）

金額 210万円

### 森林整備加速化・林業再生事業

（林道開設）

金額 5600万円

### 災害用備蓄資機材等整備事業

（食料備蓄など）

金額 1352万円

# 特養運営補助に7730万円

## 予算審査特別委員会で慎重審議

▼町有施設解体撤去事業と地域会館整備事業の詳細な内容は。

▼老朽化した4棟の旧職員住宅と、旧豊原婦人ホームを解体の予定。地域会館整備は、豊原会館の耐震改修、尾岱沼地域センターの塗装補修、恩根内会館と春日会館のトイレ改修を予定している。



改築された中春別ふれあいセンター

▼戦没者追悼式について、参加者がますます減り、追悼式の形態を検討する必要があると思うが。

▼遺族の方々の考えを十分尊重して、今後とも検討していきたい。

▼デイサービスの運営補助金7730万円は、どのようなことに使われるのか。

▼特別養護老人ホーム、デイサービスセンターの運営補助事業については、既存施設での運営費に損失が生じた場合に、利用者が必要な介護サービスを支障なく継続して受けられるように損失額を補てんするものである。

▼町長は子育て支援に力を入れるというが、町内では保育園に入れない子どもたちがいる現状があるが。

▼本年度、上春別保育園には希望者全員が入園できたが、別海保育園は希望者のうち11名が入園できなかった。

これから子ども・子育て支援計画に基づき、解消に努めたい。

▼生涯学習基金の現在高は。

▼平成25年度末残高は4億2900万円、中央公民館の建替え分としての積立額は4億65万円である。

▼住宅用太陽光発電システム導入助成事業がこれまでに助成した件数とkw数は。

▼平成21年度から合計で219件、出力1871・27kwである。

▼エゾシカ被害対策で駆除対象頭数は。

▼全体で3500頭を計画している。春駆除が1500頭、秋駆除が1300頭、走古丹の越冬地対策で550頭、野付半島の



日ごろの点検や整備により事故を未然に防ぐことができる（現在は新しいものに取り替えられています）

越冬地対策で150頭となっている。

▼児童遊園地の整備について26年度で全部終了するのか。また、定期的な点検をどの程度の頻度で行うのか。

▼遊具の整備については、25年度特に緊急性を要するものは整備したので、26年度は次に必要なものを整備する。整備は次年度以降も引き続き行う。点検については、専

門業者の点検が年1回職員が月1・2回程程度目視点検する。

▼別海町はブックスタート事業をスタートさせ読書に力を入れているが、保育園の図書費の額は十分足りているのか。

▼保育園は学校と違い国が決める充足率などの基準がないので、充足しているかどうかこれから調査したい。

# 第1次産業が共存共栄できる 社会構築に向け条例制定

**環境条例を  
全会一致で可決**

昨年、一昨年と河川へのふん尿などの流失事故が発生し、河川に対して環境負荷をかけることとなり、漁業者の農業者に対する不信感につながる事態となりました。  
このことを受け課題解決策として、当町で環境条例を制定する運びとなりました。

## 別海町畜産環境条例

酪農・畜産がまちの基幹産業の一つとして半世紀にわたり飛躍的に発展して来ました。今後は、日本一の酪農・畜産のまちとして、

さらなる環境に配慮した取り組みは、他地域と差別化し付加価値を付けることにもなります。

さらに本条例は、酪農・河川環境の改善につながり、将来にわた



酪農家が利用している雑排水処理浄化施設の一例

り、農業と漁業の共存共栄に寄与することが期待されます。  
本条例は本年4月1

日から施行されますが、農業者の規制にかかわる部分については3年間の猶予期間を設け、この期間において、農業者への施設整備支援や、家畜ふん尿処理に係る研究、意識啓発など必要な対策を実施します。

条例施行にあたり、各関係機関との連携も大事なことです。ので、議会としましても、しっかりと注視していきま

## 別海町河川環境の保全 及び健全利用条例

当町は、西別岳の麓に源流をもつ西別川をはじめ、多くの河川が風蓮湖、野付湾を経て根室湾へと注ぎ豊富なプランクトンに恵まれた漁場を形成していま

す。

本条例では、河川の環境保全および健全利用について基本理念を定め、町・町民・事業者などの責務を明らかにするとともに、将来にわたって町民が川と共生し、健康で潤いのある日常生活を営むことができる環境の創造を図ることを、目的としています。

これは私たちが先人が大切にして守り育んできた、このかけがえのない河川を保全し、後世に引き継ぐことは、私たちに課せられた大きな責務です。  
別海町公害防止条例、別海町森林河川保全巡視員設置条例に加えて水環境に関する条例が整備されました。  
以上2条例が追加されたことは、画期的なことであり、議会も遵守に向け取り組ま



別海町民の飲料水となる西別川の清流  
バイカモが繁茂するこの環境を守りたい

# TPP交渉に係る意見書を提出

**条例を一部改正しました**

- ◆**税外諸収入金の徴収に関する条例**
- ◆**介護保険条例**
- ◆**後期高齢者医療に関する条例**
- ◆**福祉施設条例**
- ◆**障害者地域生活支援事業条例**
- ◆**廃棄物の処理および清掃に関する条例**

明確にするため所要の条文を加えました。

- ◆**介護サービス使用料および手数料条例**
- ◆**資源循環センター設置および管理に関する条例**
- ◆**下水道条例**
- ◆**水道事業給水条例**
- ◆**集落排水施設設置条例**
- ◆**町立別海病院および診療所使用料ならびに手数料条例**

いづれも、消費税率が変更となったため、使用料および手数料などの改正が行われました。

**辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更**

- ①本別辺地く本別誘導線は未改良で融雪期には通行不能の状態となるため改良・舗装・橋梁の長寿命化を行う。
- ②本別海辺地く本別海へき地保育園は築後30年以上が経過し手狭で

老朽化が進んでおり、快適な保育環境を確保するため改築を行う。

- ③豊原辺地
- ④美原辺地く大型農業機械通行などに対処するため、橋梁の計画的な架け替えおよび補修を行う。

**国・道に意見書を提出しました**

◆**ウィルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書**

提出者 福祉医療常任委員会  
委員長 小林 敏之

国内には、B型・C型肝炎患者が350万人以上おり、医療費の助成は限定された治療だけである。対象から外れた患者は相当数あり、肝硬変・肝がん患者は毎日120人以上が亡くなり一刻の猶予もない。全ての肝炎医療に係る医療費助成制度の創設と

障害認定制度の緩和を求める。

◆**TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書**

提出者 戸田 博義 議員  
他4人

TPPは、例外なき関税撤廃を原則とし、国民の暮らしや地域社会の将来に極めて大きな禍根を残す問題である。

国会での決議を遵守し、全ての国際交渉で重要品目の関税など必要な国際措置を維持すること。

**委員の任命に同意しました**

◆**監査委員の選任**  
任期満了に伴い、志賀正章さん、田村秀男さんの選任に同意しました。

任期は、志賀さんが平成26年3月13日から平成30年3月12日、田村さんが平成26年4月1日から平成30年3月31日までの4年間です。



監査委員に選任された志賀正章さん



監査委員に選任された田村秀男さん

◆**公平委員会委員の選任**  
任期満了に伴い、寺澤哲也さん（羅臼町）の選任に同意しました。任期は、平成26年4月1日から平成30年3月31日までの4年間です。



公平委員に選任された寺澤哲也さん



# 町政の ここが聞きたい

第1回定例会では6日目(3月10日)に4議員が一般質問をしました。  
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。  
詳しい議事録は町のホームページに掲載します。

## ■中村 忠士 議員……………10

- 1 「株主間協定」にある「保証料」の額は
- 2 旧交流センター(郊楽苑)の4月以降の営業は
- 3 オール別海でTPP参加阻止を

## ■西原 浩 議員……………11

- 1 畜産環境条例制定の目的と支援対策は
- 2 別海高校の通学バスの支援拡充を
- 3 学校教育の充実政策は

## ■木嶋 悦寛 議員……………12

- 1 ごみ減量化の成果は

## ■瀧川 榮子 議員……………13

- 1 基金を活用し国保税の引き下げを
- 2 米海兵隊移転訓練の情報公開が必要

## 議会広報モニターとの意見交換会

平成26年2月13日に議会広報モニターの皆さんとの意見交換会を開催しました。

出席者は福原義親さん、鈴木郁夫さんのお二人と、岡田正子さんが文書にて意見を寄せてくださいました。主な意見を紹介させていただきます。

### ■議会だよりについて

- ・議会の開催日周知に工夫がほしい。
- ・議会だよりをとおして、議会に関心を高める。
- ・字や写真を大きくしたり、用語の解説をしたりして、誰にでも読みやすい紙面づくりを。
- ・町民とのつながりを担う大切なパイプである。
- ・「志を受け継ぐ」はとても良い、まだまだたくさんの人を紹介してほしい。
- ・今年のしごとという冊子があるが、議会だよりで事業の進み具合や、完成報告などありがたい。
- ・任期中に自己アピールも含め議員の紹介を。

### ■議会報告会について

- ・周知方法の工夫をして、参加者増を。
- ・意見交換の時間をもっととってほしい。
- ・女性団体と話し合う場を設けては。
- ・話題を提供して活発な意見交換を。



鈴木郁夫さん(奥)と福原義親さん

いただきました意見を参考にして、よりよい議会だよりを目指していきます。  
モニターの皆さん1年間ありがとうございました。

中村忠士議員



<バイオガス発電施設>

「株主間協定」にある「保証料」の額は

中村議員

農政課長 細かい数字については聞いていない

**質問**  
町と三井造船で取り交わした「株主間協定」では、借入金12億2000万円の7割を三井造船が債務保証するが、「その場合、事業会社

は、共同出資者間で合意する保証料を三井造船に支払う」となっている。「保証料」の額はどのくらいか。

**山崎農政課長**  
細かい数字については聞いていない。

**質問**  
「株主間協定」によると、原料（ふん尿）がきちんと供給されない場合、町に大きなペナルティがかかる。

参加農家が他の補助事業を使っている場合、三か月分のふん尿量しか提供できないことになっている。そういう農家は何戸になるか。  
**有田産業振興部長**  
資料はあるが、数えてみなければわからない



平成19年に動き始めた研修牧場のバイオガス施設

いので、今回答はできない。

**質問**  
原料の問題として、食品廃棄物を1日5ト入れて運転するという計画だが、どこから持ってくるのか。

**有田産業振興部長**  
プラントが27年3月

末で完成するので、それまでの間に模索する。町内の水産系廃棄物処理施設や中西別資源循環施設と競合しない形で探して下さいという話をしている。

**質問**  
ガスをとったあとに出来る「消化液」の肥料効果や土地、環境に対する影響はどうか。

**有田産業振興部長**  
牧草の収量について

は5年目で21%増である。特に一番草の収量に大きな差がついてくる。

**質問**  
表層土壌の乾燥密度や土壌炭素の蓄積量、土壌内の生態系、微生物の状況などは調べているか。

**有田産業振興部長**  
報告書の中にはあるかと思うが、私は今把握していない。

中村議員  
旧交流センター（郊楽苑）の4月以降の営業は

町長 当面の間、(株)郊楽苑に営業を継続してもらおう

**質問**  
契約切り替えなど、どのような状況になっているか。  
4月からの営業はどうなるのか。

**有田産業振興部長**  
(株)郊楽苑は、町が昨年9月25日に通知した契約更新拒絶の通知を今般、受け入れるとの意思表示があったので、

現在合意書を取り交わすべく協議を進めている。

**水沼町長**  
公の施設として管理運営する方向で検討を進めているが、準備が整うまで、(株)郊楽苑に営業を継続してもらおうことで協議していく。(15ページに関連記事)

TPPの質問

オール別海でTPP参加阻止に向けての取り組みを強める必要がある。

町民大会を開くときではないか。

水沼町長

国会決議を断固遵守すべきとしながらも、行動については管内自治体の首長と協議を行う中で、管内一体となつて行動すべきであるとの考えを踏まえながら、検討していく。

西原 浩 議員



### 西原議員 畜産環境条例制定の目的と支援策は

町長 必要に応じ適正な助成など支援策を講じていく

**質問** 配合価格の高騰を起因とした生産コストの上昇などにより、酪農を取り巻く環境がますます厳しさを増し、酪農家の減少に歯止めが

かからず、昨年1年間の離農戸数は25件である。

今後の担い手を確保する取り組みは。

**磯田副町長**

現在、生産量を落とさず、かつ、農家戸数の穴埋めをどうするかについて農協と協議している。

**質問**

畜産環境に関する条例が提案された。この条例によって、当町の酪農をどのように発展させていくのか、また、新たな投資も必要になってくるが、支援策は。

**水沼町長**

本条例を契機として、農業者一人一人が環境に一段と配慮した農業を実践することで、環境に優しい持続可能な農業の発展と、安全安心な農畜産物のさらなる販路拡大にもつなが

るものと考えている。家畜ふん尿貯留施設整備費の補助、中山間

事業など、必要に応じ適正な助成など支援措置を講じていく。

西原議員

### 別海高校の通学バスの支援拡充を

総務部長

保護者の負担軽減支援

体制を検討していく

**質問**

少子化の影響で道立高校の再編や統合が加速する状況下において、いかにして地域の高校を守るかは重要な課題の一つである。

別海高校の通学バスの支援体制を拡充する必要があると考える。

**竹中総務部長**

民間バスと生活バス料金は、1か月定期では大きな差異はないが、3か月定期では6割ほど高い料金になっている。利用者の公平感などを考慮しつつ、保護者



通学バスの支援拡充がもとめられている別海高校

西原議員

### 学校教育の充実政策は

教育長

別海型の学校学習

指導体制の構築を進める

**質問**

教育執行方針で、生き抜く力、質の高い学力、豊かな心、たくましい生活力アッププロジェクトを実施するとあるが、どのような取り組みを行うのか。

**真籠教育長**

全国学力学習状況調査の上位の府県に市内の教職員を派遣し、教育に関する取り組み内容や体制、並びに地域の状況などを視察調査する。

**質問**

先進地視察を当町の教育にどのように取り入れていくのか。

**真籠教育長**

基礎学力を向上させるために、先進地ではどのような取り組みを實際やっているのか。また、学校と教育委員会のかかわりは、どれだけ密接な連携をとっているのかは非常に重要だ。

当町に一番ふさわしい学習体制を構築する。

木嶋悦寛議員



## ごみ減量化の成果は

木嶋議員

福祉部長 一定の成果を得ているが、問題は生ごみ対策だ

**質問**  
ごみ減量化についての具体的な取り組みと成果は。

佐藤福祉部長

昨年8月から、別海町ごみの減量化大作戦と銘打って、町広報紙

で5回にわたって、情報発信、啓発した。平成24年度と平成25年度における1月末現在の資源化率を比較すると、一昨年度が96.0％、昨年度が105.1％と実績で91％ほど増加しており、一定の成果がある。

**質問**

これから同じように、啓発活動をやっていくのか。

佐藤福祉部長

今までの取り組みをさらに強化するが、最終的に減量化で問題になるのは、生ごみだ。現状の焼却という方法が本当によいのか、検討が必要だ。

**質問**

生ごみの資源化など、処理についての考えは。

佐藤福祉部長

リサイクル法ができ

た当時は生ごみの減量化に対して取り組み、コンポストの助成などを行ってきた。現時点で具体的な取り組みはまだないが、生ごみの減量化には何とか取り組みたい。

**質問**

今年度新たに加えた4つ目のR、リフューズは、レジ袋や過剰包装を断るといことだが、自治体としてリフューズを加えた意図は。

佐藤福祉部長

レジ袋は検証したところ、90％が生ごみなどの内袋として、利用されている。リフューズを加えた意図は、レジ袋に限らず、結果的にごみとなるものを断ることで、少しでもごみの量を減らそうということだ。

**質問**

生ごみの内袋として利用することでごみ置き場の環境を守ることができないのではないかと。

佐藤福祉部長

レジ袋は中身が見えないため、異物を混入して捨てられることもあり、一つ一つ破いて確認するため、分別作業の妨げになっている。また、生ごみの水きりが徹底されず、重量も増し、焼却のための燃料も多く必要となる。ただ、レジ袋を抑制



燃えるごみの袋に入っていた不燃物、分別の徹底を

しても、それに代わるものが使われることになると考えられ、結果として、生ごみの適正な処理、減量化に向けて、根本的な取り組みが必要だ。

**質問**

生ごみ問題は、これから一番真剣に取り組まなければならぬことだと確認できた。

プラスチック容器リサイクルについて、全体像が不透明で、明確になっていない。資金拠出制度など、もっと積極的に町民に知らせる必要がある。

水沼町長

プラスチックについては、毎年130％ほど資源ごみとして収集され、コークス炉化学原料化※され再利用されている。プラスチックなどについては、再商品化するための費用の一部を

町が負担しているが、分別がきれいな場合、再商品化に貢献していると判断されて、再商品化合理化拠出金として、平成24年度33万7000円が町に交付された。

今後このような情報を積極的に発信をして、ごみの減量化、分別、リサイクルの徹底をしていくとともに、リサイクルの全体像を明らかにするための取り組みとして、学校などへの出前講座、施設見学を受け入れ、広報紙などを利用したりリサイクル製品の紹介などを積極的にやりたい。

※コークス炉化学原料化

プラスチックを熱分解する過程で発生するタールや軽油は容器皿類や電子部品に、ガスは発電、残渣はコークスとして回収する技術。新日鉄が開発した。

議員 瀧川  
**基金を活用し  
国保税の引き下げを**

町長 政策的見地から赤字に対し  
基準外繰入をしている

質問 当町の国民健康保険  
運営協議会では、現在の  
国保税に対してどの  
ような考えを示してい  
るか。

竹中総務部長

平成26年度は国保の  
税制改正が予定されて  
いる。国の制度改正で  
限度額の総額が、77万  
円から81万円になる。  
低所得者層への保険税  
軽減対象世帯拡充も予  
定されている。

佐藤福祉部長

被保険者代表の方か  
らは中間層の負担増に  
つながる税率改正は、  
町民にとって大変厳し  
いと意見が出されてい  
る。

質問

来年度の国保税につ



議員 瀧川  
議員 瀧川

国民皆保険制度の中  
で、国保加入者が安心し  
て医療を受けられるべ  
きと考えるが、税負担が  
厳しく、正規の保険証を  
持たない人も増えてい  
る。財政調整基金が大  
きく積み増しされてい  
る。基金を活用し、保  
険税を引き下げること  
が必要だと考える。

水沼町長

国保制度は市町村が  
実施主体の事業で、保  
険税と国庫負担などの  
公費を持って運営する  
のが原則。政策的な見  
地から、国保会計赤字  
を、一般会計からの基  
準外繰入れにより解消  
の対策を講じている。

財政調整基金につい  
ては、災害や税の落ち  
込みによる財源不足な  
どに備えているが、過  
剰な積み立てをしてい  
るとは思っていない。

議員 瀧川  
**米海兵隊移転訓練の  
情報公開が必要**

町長 ブリーフィングの確実な実施を  
求めるよう協議している

質問

今年も米海兵隊移転  
訓練が実施される。昨  
年は訓練回数を重ねな  
がら、重大事故が起き、  
住民の命が脅かされて  
いる。この状況をどう  
考えるか。

水沼町長

昨年の事故は、これ  
まで築かれてきた地元  
自治体や住民の信頼関  
係を大きく揺るがした  
と受け止めている。

訓練が実施される際  
は、4町および道は矢  
白別演習場関係機関連  
絡会議を開催し、確認  
事項も踏まえ、北海道  
防衛局（以後防衛局）  
に対し必要な要請を実  
施する。

質問

重大事故後も、町へ  
の連絡が遅れるなど、  
情報提供が益々少なく  
なっている。十分な情  
報提供、ブリーフィン  
グを求める必要がある。

防衛局への働きかけは  
どうしていくか。

水沼町長

迅速・正確な情報提  
供、情報共有が確実に  
履行されるよう防衛局  
に積極的に働きかける。

防衛局から、情報提  
供策として連絡調整に  
当たる専従職員の現地  
配置などの回答を得て  
いる。

ブリーフィングの確  
実な実施を求めること  
で協議している。

質問

移転訓練当初から住  
民有志が監視を続け、  
誤着弾場所もいち  
早く見つけ、情報  
発信してきた。

秘密保護法によ  
り住民の行動まで  
もが違法とされる  
事態があってはな  
らないと考えるか。

水沼町長

自発的に長年続

けている住民活動に敬  
意を表す。

特定秘密を取り扱う  
公務員以外の人は、違  
法対象とされるような  
ことはありえないと理  
解している。

質問

訓練受け入れ容認前  
議会は受け入れに反対  
だった。時間をかけて  
もそのときへと戻して  
いく必要がある。

水沼町長

わが国の国防政策を  
尊重し沖縄の負担軽減  
の必要により移転訓練  
の返上は考えていない。



平成24年に実施されたブリーフィング（事前内容説明）

# 各常任委員会の うごき

総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会の平成25年第4回定例会終了後の活動について概要をお知らせします。

## 総務文教常任委員会

担当部署 総務部  
教育委員会

委員長 松原政勝  
副委員長 沓澤昌廣  
委員 中村忠士  
委員 戸田憲悦  
委員 木嶋悦寛

### 第6次総合 計画の見直し

総合計画は10年間の計画となっており、計画の見直しや新たな課題に対応するため、中間年度において必要な見直しを行うこととしています。

見直しの策定のスケジュールは、

- ①1月まちづくり懇談会を町内3か所で開催し、町民に説明。
- ②1月から2か月間におよぶパブリックコメントの実施
- ③見直し実施に伴う基本計画を「広報べっかい」に内容を掲載。委員会からの提言として、当町の基幹産業について今後の振興策をどのように推進をしていくのか具体的に指針を示すべきなど意見が出さ

れています。

### 生涯学習センター(仮称)建設に関する基本的な構想

平成25年12月17日に生涯学習センター(仮称)建設基本構想策定委員会が設置され、町内の自治会、文化団体など7団体から推薦された委員をもって構成、発足しました。

建設に係る基本的構想を4項目設け協議されます。

- ①基本的理念(どのような施設を目指すか)
- ②基本的な機能(公民館機能に加えてどのような機能を付加するか)
- ③施設の規模と設備(どの程度の規模か、また求める機能に対してどの程度の設備力か)建設場所などの視点として基本構想を練り上げて

行きます。

委員会として町外の施設(会館)など利用状況や設備、利用している中でどのような「必要」「不必要」があるかなども調査を進めていきます。

平成30年の建設に向けて、調査を継続していきます。

## 福祉医療常任委員会

担当部署 福祉部  
町立別海病院

委員長 小林敏之  
副委員長 山田 信  
委員 戸田博義  
委員 森本一夫  
委員 松壽孝雄

### 子育て支援対策

子ども、子育て支援事業計画策定のために、対象世帯2千人にアンケート調査を実施し、476人より回答がありました。

内容は母親の就労状況や定期的な教育、保育事業、児童クラブ利用など、子育て支援に関する質問でした。

身近な問題について回答があり、内容を精査して報告をするとのことでした。

### 特別養護老人ホームなどの 建替えと経営移譲

2月6日に社会福祉法人「べっかい柏の実会」と協定書を締結したと報告がありました。

### 視察調査

別海町し尿処理場は、築後30年を経過し、老朽化が進行しています。が、補修しながら延命し、建替えは考えていないと説明がありました。

別海町ごみ処理場は、煙突が崩壊の危険性があるので、早期に予算措置し撤去すべきと指摘し、所管から早々に対応したいとのことでした。

最終処分場は、今後20年利用可能と説明さ



新刊の到着を心待ちにしている図書館

れました。

根室北部廃棄物処理  
広域連合焼却施設では、  
可燃ごみに鉄類が混入  
し、機械が破損するな  
どで多額の修繕費用が  
必要になっている。  
分別の徹底を各町に  
お願いしていくとのこ  
とでした。

### 産業建設常任委員会

担当部署 建設水道部  
産業振興部  
農業委員会

委員長 安部政博  
副委員長 瀧川榮子  
委員 安田輝男  
委員 佐藤初雄  
委員 西原 浩  
委員 今西和雄

### 合意急ぐ郊楽苑

町は昨年9月に郊楽  
苑に対して平成26年3  
月31日で契約を打ち切  
る旨の契約更新拒絶の  
通知をしました。

それに対して郊楽苑  
側から受諾した旨の報  
告を昨年末に受けたと  
ころですが、合意書の  
作成が必要との事から  
双方での協議が始まり  
ました。  
その後代理人による



ダイオキシン対策で解体が遅れていた  
ごみ処理場の煙突

合意書の作成につい  
ての協議が続けられて  
いるところですが、3月  
31日現在合意されてい  
ません。

借地借家法により借  
家人が守られている状  
況もあり、代理人によ  
る協議も長引くことも  
予想されます。

町としては、町民の  
利便性を考え入浴施設  
を継続したいことから、  
現契約の延長の中での  
協議をしています。

### 除雪費

当委員会としても経  
過を注視し、早期の解  
決に向けて議論を深め  
ていきます。

平成25年度の除雪費  
予算は1億円でした。

しかし、2月から全  
車出動の吹雪が続き、  
2月17日に専決処分  
で4千万円を補正しまし  
た。3月も吹雪が多く  
全車出動が合計8回と  
なりました。

その結果、町有車業  
務委託分で3400万  
円、民間車業務委託分  
が1億400万円、人

力除雪委託分が170  
万円となり、1億40  
00万円を使い切った  
形となりました。

### 別海町橋梁長寿命化計画

町が管理する橋梁は  
219橋あり、今後50  
年を超える高齢化橋梁  
は増大します。

定期点検をし、予防  
的な修繕および計画的  
な架け替えが必要になっ  
ています。

点検により把握した

健全度に基づき、最適  
な修繕計画（低コスト  
かつ長寿命を図れる計  
画）を立案し、また、定期  
パトロールや災害発生  
直後などにおける臨時  
点検を行い、橋梁の損  
傷状態を把握します。

この計画を実施する  
ことにより、今後60年  
で5割の費用縮減効果  
も期待できます。

道路ネットワークの  
安全性、信頼性を確保  
していくために計画が  
策定されました。



橋台クラック補修が予定されている旭橋

# 議員定数等調査特別委員会 中間報告

議員定数等調査特別委員会では、議員定数、議員報酬、議会広報・広聴常任委員会化、政務活動費および議会活性化に関するアンケート調査を全議員に実施しました。

このアンケートと独自に収集した資料や情報を基に、通算14回の委員会を開催し、議論を重ねてきました。これにより委員会として、議員定数と議員報酬および広報広聴常任委員会化について、方向性を示しました。

なお、政務活動費については議会活性化と大きく関連することから、特別委員会で継続して審議することといたしました。

## 議員定数等調査 特別委員会

議員定数削減  
(18名↓16名)

人口減が続いている、町も行財政改革を進めている、特別委員会を設置した重みを考えるべき、などの意見から現行の定数18名から2名削減することと判断いたしました。

## 議員報酬を増額

若い世代が議員として出られる環境づくりが必要であること、議員活動が以前と異なり複雑化しているが報酬は10年前と変わらないこと、さらには、全道的に見て一般議員の報酬が平均以下であるなどの理由から、議員報酬を15%増額するのをはじめ、委員長報酬は

委員長	佐藤初雄
副委員長	松原政勝
委員	中村忠博
委員	戸部政博
委員	小林敏昌
委員	小澤昌浩
委員	西原

7%、副議長報酬は0.5%増額するべきとの判断をいたしました。なお、議員報酬は別海町特別職報酬等審議会に諮問され最終決定します。

## 広報広聴常任 委員会化

別海町自治基本条例に基づいて、議会の情報公開や町民参加を具現化するためにも、広報紙の編集に関することや、広報広聴の実施に関すること、広報広聴の調査研究に関することを所管し、常任委員会として位置付けすることを全会一致で確認しました。

委員の定数は8名とし任期は2年としました。

## 政務活動費と 議会活性化

今後、政務活動費※や議会報告会の拡充、住民との意見交換会の開催などの議会活性化について議論を進め、第2回定例会（6月開催予定）に最終報告をすることとします。

### ※政務活動費

議員の調査研究や、その他の活動の拡充を図る費用。  
議会の審議機能を強化するとともに、住民の意志を把握し、行政に反映させる基盤づくりのために必要な経費の一部として支給される。



議員定数など議会の活性化を議論する特別委員会



# 一部事務組合・広域連合の定例会議報告

平成26年2月28日、中標津町議会議場で開催されました



建替えられる現在の白樺斎場

## 平成26年度一般会計予算 5億2486万円

収入内訳 各町分担金および負担金

別海町	1150万円
中標津町	3713万円
標津町	902万円
合計	5765万円

中標津町外  
2町葬斎組合

## ■白樺斎場整備工事費

工事名	工事費
建築主体工事	2億5835万円
電気設備工事	4730万円
機械設備工事	4942万円
火葬炉設置工事	7442万円
外構工事	2409万円
合計	4億5358万円

別海斎場の建設借入金  
の償還が平成25年度  
で終了した事により、

地震・津波災害はもとより、大雨・暴風雪など、昨今は、大きな自然災害に遭遇しています。備えあれば憂いなし

## 平成26年度一般会計予算 16億560万円

収入内訳 各町負担金

別海町	5億4681万円
中標津町	4億4821万円
標津町	2億3294万円
羅臼町	3億2514万円
合計	15億5312万円

根室北部消防  
事務組合

今年度の各町の負担金が  
昨年度より減額になりました。  
中標津町の白樺斎場  
増改築工事が、平成25  
年度より着工、平成26  
年11月完成予定です。

町民の皆さんにも充分理解して頂き、ごみの無い綺麗な街づくり  
に向かっています。

文明が発達すればするほど、様々な種類のごみや資源でもある廃棄物が増え続けます。そこで知恵を出し合っ

根室北部廃棄物  
処理広域連合

また、今後は一層の広域的な連携での対処・対応も必要になってきます。  
町民の皆さまには、さらなる御理解と御協力をお願いします。

と申しますが、消防の皆さまには地域住民の生命財産を守っていただいています。  
私たちも防災・減災など、各地域にある自主防災組織の活動をさらに充実させていくことが必要です。

## 平成26年度一般会計予算 9億310万円

収入内訳 各町負担金

別海町	2億3949万円
中標津町	4億2213万円
標津町	1億2776万円
羅臼町	1億923万円
合計	8億9861万円

一般会計予算において、ごみ処理施設管理費が大幅な増額となっています。  
確実に分別し、リサイクルに出すなど、リサイクルをしっかりと守ることが施設や機械などの延命につながります。  
昨今は、3Rにも一つのリ(リフューズ・過剰包装を避けるなど)を加えての取り組みが始まりました。  
改めて、限られた資源の中で生活している事を受け止め、次世代に繋げて行きましょう。

人としての尊厳と生きる権利を守りたい

笑楽福祉工房 代表・社会福祉士 おおわだともこ 大和田智子



仕事の合間に取材に協力してくださったスタッフの皆さん（前列右から3人目が大和田さん）

笑楽の一日は、笑いで始まり笑いで終わります。

時には家族のように、時には懐かしい友との再会のように、時には近所の井戸端会議のように、春夏秋冬季節の移ろいと共に過ごしています。

平成15年、民間だからできること、そして笑いとユーモアの中で、安心して受けられる介護サービスを目指し、利用されている方が主人公となる、そんな居場所を作りたいと考え、笑楽福祉工房を立ち上げました。

老いや病や障がいには誰にでもやってきます。10人いたら10個のステージ、10個のドラマがあるのです。そんな利用されている方の人生に寄り添いながら、『出会えてよかった』『生きていてよかった』と共感しあえることは、福祉に携わる者の醍醐味です。

自分ならどうするのか、自分の親ならどうあってほしいのか、理想の姿を自らに問い、そしてスタッフに語り続けてきました。

これから先も、思いやる想像力、工夫する創造力を発揮できるよう、福祉の原点に立ち返りながら、理念を追究していきたいと思えます。

編集後記



先日往年の名歌手りりいさんとお話する機会があった。今は歌手業と女優業をこなす、素敵なお姉さまだ。あの倍返しのお母親役もされていた。そんな有名人でも音楽は大ホールではなく、人の顔が見えるライブハウスが中心だそう。

人の顔が見えるといえば、町政も同じである。住民一人ひとりの思いに添えてゆく。言うのは簡単だが、永遠のテーマであろう。ともやもや考えながら、締め切りを過ぎた原稿を書いている。  
(木嶋委員)

年明けから小雪でしたが、2月3月と雪の多い冬となりました。荒天により定数特別委員会が2度ほど中止になり、第1回定例会は吹雪に備えて宿泊するなど雪対策に迫られました。

本定例会は、バイオガス発電事業、畜産環境条例、消費税税率アップに対応する経済対策など多くの重要な案件を審議しました。69号では、その審議の様子を議会だよりに掲載しました。

今後分かりやすく読みやすい紙面づくりを目指して行きます。  
(西原委員)

携帯電話は車を止めて！シートベルト着用・スピードダウン